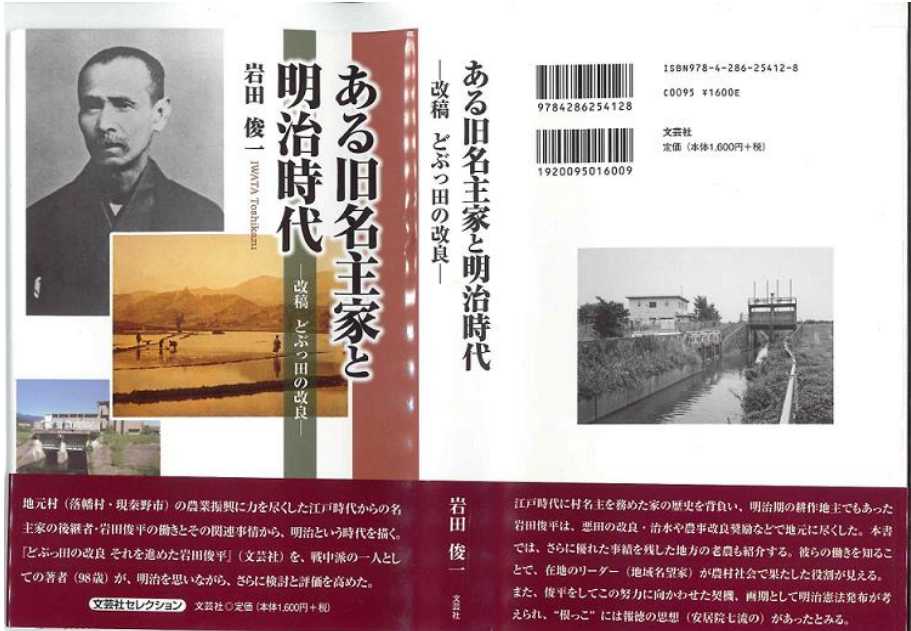


まほろば秦野通信

令和6年6月25日

タイトル	鶴巻在住・岩田俊一氏からの著作本寄贈
When (いつ)	6月28日（金曜日）16:00～16:30
Where (どこで)	秦野市役所本庁舎3階市長応接室
What (なにを)	岩田俊一氏（鶴巻在住、99歳）が自ら執筆した著書「ある旧名家と明治時代」（文芸社、令和6年6月15日初版発行）、20冊について、市が寄贈を受けるものです。 著書の中では、筆者の曾祖父の岩田俊平が、明治時代に地元農村（落幡村・現秦野市）で洪水害が常発する水田の耕地整理、水利の改善に尽くした事績及び当時の報徳運動や地方改良運動が紹介されています。  地元村（落幡村・現秦野市）の農業振興に力を尽くした江戸時代からの名家の後継者・岩田俊平の働きとその関連事情から、明治という時代を描く、「どぶ田の改良 それを進めた岩田俊平」（文芸社）を、戦中派の一人としての著者（98歳）が、明治を思いながら、さらに検討と評価を高めた。 文芸社セレクトショーン 文芸社◎定価（本体1,600円＋税） 江戸時代に村名主を務めた家の歴史を背負い、明治期の耕作地主でもあった岩田俊平は、悪田の改良・治水や農事改良発願などで地元尽くした。本書では、さらに振れた事績を残した地方の老農も紹介する。彼らの働きを知ること、在地のリーダー（地域名望家）が農村社会で果たした役割が見える。また、俊平をしてこの努力に向かわせた契機、両期として明治憲法発布が考えられ、「限っこ」には報徳の思想（安居院七流の）があったとみる。
問い合わせ	くらし安心部市民活動支援課市民活動支援担当：内田・板垣 電話：0463（82）9618